

授業科目名	教育哲学演習
科目番号	CB22112
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	秋AB火3
担当教員	平井 悠介
授業概要	個性の伸張(個人の自由の拡大)と社会性の育成(社会の維持・発展を担う市民の育成)という、対立的要素を含んだ二つの教育目的をいかに両立させるか、という近代教育が抱えてきた課題について、現代の教育に関わるさまざまな問題を取り上げながら、考察していく。受講生各自が、関心のあるテーマから問題を見つけ、その問題を自ら、もしくは協働して、さまざまな側面から考えていく演習を行う。
備考	対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「教育学における総合的思考力」、「教育学的実践力」に関連する。
授業の到達目標(学修成果)	1 授業で取り上げる現代の教育課題について他者と討議し、自分の考えを整理してまとめることができる。 2 教育における現代的課題を自ら発見し、その課題の解決法について自らの考えを論述、わかりやすく発表できる。
授業計画	対面で授業を行う。 第1回 未来社会予測と現代教育:教育目標としての「力」について考える 第2回 現代教育における対話の位置:学校教育における対話の可能性と課題について考察する 第3回 教育実践としての「子どものための哲学」:対話的哲学探究の可能性を考察する 第4回 「子どものための哲学」の実践:「自由」と「尊重」について哲学する 第5回 シティズンシップの教育思想1:教育思想における市民の位置を理解する 第6回 シティズンシップの教育思想2:国家と市民の関係性を考察する 第7回 現代のシティズンシップ教育を考える:市民教育の現代的議論を分析する 第8回 現代教育の課題と解決1:受講生によるプレゼンテーション実践 第9回 現代教育の課題と解決2:受講生によるプレゼンテーション実践と総括 第10回 教育哲学的思考とは何か:教育哲学の思考法を改めて考える
成績評価方法	受講状況(授業に対する積極性・リアクションペーパーの内容・プレゼンテーション実践含む)60% および 課題提出(総括レポート)40% を基礎に、総合的に評価する。 授業時の学習成果、到達目標に掲げた各項目に関わるレポートの成績により、到達目標を十分満たしたと判断された場合、合格(A+, A, B, C)のいずれかの評価となる。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(20%)、集団討議(80%) 事前学習、事後学習を含め、1回あたり150分の授業外における学修を要する。 事後学習の成果は、リアクションペーパーにまとめ、次回に提出する。 授業終了時に配付された資料や提示された課題をもとに、事前学習を行うこと。
教材・参考文献・配付資料等	使用しない授業時に、資料を含むレジュメを配布予定。
オフィスアワー等(連絡先含む)	金4 ただし事前にメール連絡(宛先は授業時配布のレジュメに記載)の上であれば、随時。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	受講生同士の議論、受講生との対話を随時授業に盛り込むアクティブ・ラーニングを行っていきたい。そのため、受講生には授業への主体的な参加だけではなく、事前・事後の準備・発展学習に時間をかけて取り組む姿勢を望む。

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF) ・ティーチング アシスタント (TA)	
キーワード	近代教育教育における対話, 子どものための哲学, シティズンシップ教育